

「ミナ・クル」設備の改修に向けての活動報告

前号の「武元七尾市長との懇談会」が発行されてから、七尾駅前再開発ビル「ミナ・クル」の関する記事によって、建物の設備が障害をお持ちの方々にとって利用が不便であるということが皆さまに理解され、各方面から大きな反響があり、七尾市が設備の改修へ向けて動き出しております。

9月13日に青山彩光苑利用者と市役所職員による「ミナ・クル」の利用が不便な箇所の設備を再確認、その後、七尾市と工事の請負業者との打ち合わせが行われました。

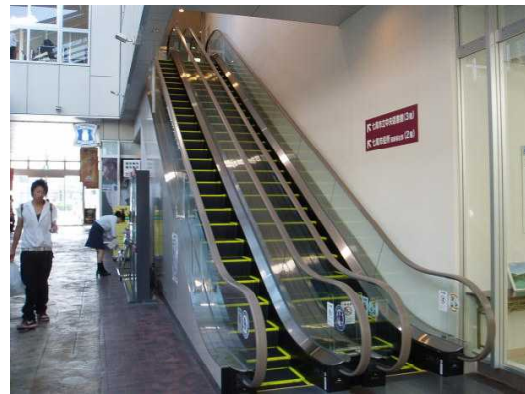
昨年9月の「ミナ・クル探検隊」からの活動から始まり、今年2月の「武元市長との懇談会」の記事を通して行政に働けかけることが出来たことを喜んでおります。

しかし、この活動はこれで終わったのではなく、設備の改修状況を確認し、最後まで皆さまにご報告させていただきたいと思っております。

また、今回、掲載しました「道路、歩道、グループホーム」などの件につきましても、何か動きがありましたら、紙面でご報告させていただきます。



「ミナ・クル」全体正面



「ミナ・クル」1階エスカレーター

七尾市長に要望書提出・「HSK季刊わたぼうし」を届ける

平成19年8月21日(火)

午後1時30分、青山彩光苑の利用者・川崎氏、桶屋氏、支援者・西村氏が、七尾市役所に到着。

来年3月に開店する大規模小売店舗「ベイモール」の出店に伴い、車いすでも乗り降り可能なバス停設置の要望書を、環境安全課の平野課長に渡しました。

当初の予定は七尾市長・武元文平氏に渡す予定でしたが、市長に会えないため平野課長に渡し、お話を伺いました。

市側の回答は、出店店舗の地面は私有地なので市の方から言えないそうですが、これからの高齢者の方、障害者の方が利用しやすいバス停の設置をお願いし希望には賛同していただけました。

その後、市役所3階に行き市企画政策部秘書広報課長・奥井敦士氏に市長への要望書と「HSK季刊わたぼうし」を渡していただけるようお願いしたら「少し待っていて、市長と会わせるから」と言われ、待っていましたら、市長室に案内されて市長に会うことが出来ました。

武元市長に2月に行いました懇談会のお礼を伝え、その様子を載せた「HSK季刊わたぼうし」をお渡しました。その後「ミナ・クル」の改修状況についてお聞きしましたら、能登半島地震や年度末の定期異動で担当者が代わってしまっているのので、後ほど担当者に聞いて連絡すると約束して下さいました。

上記の店舗出店に伴う高齢者、障害者の方が利用しやすいバス停設置のお願いをしましたが、市長の回答も平野課長と同じでした。しかし「前向きな方法を検討する」ことを約束して下さいましたが、「ベイモール」の方にもバス停の設置をお願いして欲しいと言われました。

わずか10分ほどでしたが、何とか前向きな返事をいただくことが出来て、喜んで帰って来ました。川崎氏の「ベイモールに車いすでも乗り降り可能なバス停を造れないか？」の一言でこんなに素晴らしい活動が出来たのだと思います。

その夕方、西村氏が出店テナント予定で食品スーパー「どんたく」の社長と会い、近々「ベイモール」の関係者に会うからバス停の設置の要望書を渡してくれると言われたので、さっそく文書を作って「どんたく」の社長に渡していただきました。

この件につきましては、今後も活動、経過の報告をさせていただきます。



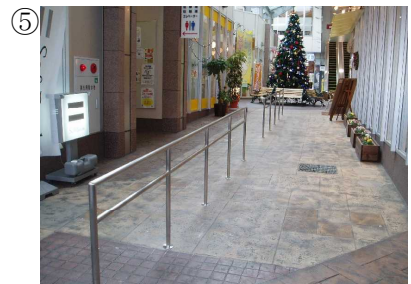
課長に要望を伝える



武元市長に機関紙を手渡す



武元市長に要望書を提出



「ミナ・クル」の改修工事“七尾市長との懇談会”その後

青山彩光苑ライフサポートセンター
桶屋 善一

「HSK季刊わたぼうし」73号の「武元七尾市長との懇談会Ⅰ」で、掲載しました七尾駅前第二再開発ビル「ミナ・クル」の改修工事が、昨年12月5日より行われましたので、ご報告いたします。

まずトイレを見てみました。①トイレットペーパーの位置を下げ、各種スイッチの操作盤の位置も下げました。②多目的ベットの位置も10～30cmほど奥にずらしましたが、私の場合まだトイレットペーパーには届きにくく、1・2階のトイレの面積は少し狭いので、私のような電動車いすでは介助者なしでは利用できないと感じています。

2階から3階に通じる③④「勾配のきついスロープ」には、写真のような手すりが両側に付けられ、更に1階の⑤「床がガタガタで勾配がある通路」には、中央に手すりが設置されて安全対策が図られました。まだまだ充分とは言えないかも知れませんが、少しは「市民が安心して利用できるミナ・クル」になったのではないかと思います。

市民が声を上げてから実際の改修まで1年半という月日が経ち、以前なら結論がなかなか出ないと諦めていたかもしれない事例ですが、今回は七尾市の福祉課をはじめたくさんの人達のご協力とご理解のお陰でこのような結果が出ました。

「ミナ・クル」建設前や建設後も意見の食い違いや誤解等いろいろありましたが、結果的には管理者側の皆様がバリアフリーや危険防止に理解をもって改修工事をして頂いたことに感激し、改修推進に携わって下さった関係各位に感謝申し上げたいと思います。本当に

ありがとうございました。今後も勇気を持って自分たちが出来る社会参加を続けて行きたいと思いますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。